

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	韓方(漢方)医学との市民レベルの交流による健康寿命延伸推進と浅間温泉
事業主体 (連絡先)	渡来人まつり実行委員会(信州渡来人倶楽部) (090-1691-4485 事務局 李)
事業区分	(2)保健、医療、福祉の充実に関する事業 / (6)ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	602,220円(うち支援金:451,000円)

事業内容

- 「日韓の東洋医療」講演会 [浅間温泉文化センター]
講演者: ①根本賢一(松本大学教授) ②李東根(テオロム韓医院理事長) ③鎌江真五(ハーブアート自然医療センター)
- 大邱市のテオロム韓医院のスタッフによる健康相談、韓医療の体験・交流。[浅間温泉会館(ホットブラザ浅間)]

(活動写真)



【日韓の東洋医療講演】

【目標・ねらい】

- ① 「韓方医療」の啓蒙
- ② 「韓方医療」導入の環境づくり
- ③ 保健資源として温泉の開発
- ④ 「健康寿命延伸」への貢献策

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 講演会の聴講者数は206名で、目標数を満たした。事後のアンケート、個々の聞き取り情報から少なくとも聴講者は「韓方医療」への知見を得ることにより、「韓方医療」への認識と関心が高まった。
- テオロム韓医院スタッフによる健康相談、体験により「韓方医療」の診療が身近で日常的に受けられることへの期待が強いことが実感された。
- 「韓方医療」が「健康寿命延伸」に貢献することが確認できた。

※自己評価【 C 】

【理由】市民の「韓方医療」への関心を高めることはできたが、韓国語の通訳を翻訳した資料のみにしたことなどで、内容を理解しにくかった。温泉・薬膳・韓方医療の三位一体の実効ある事業の一步となったので、今後、「韓方医療」の導入と定着を目指してよりわかりやすい講演などを行い、事業の継続を図りたい。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 「韓方医療」についての知見を広めるために講演会、セミナー、韓方教室等多彩な学習活動をおこなう。
- 日本における「韓方医療」活動のネットワークづくりに努める。
- 松本に「韓方アカデミー」を設立し「健康寿命延伸」に貢献できる基盤づくりに取り組む。

全国的ネットワーク

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある